

1 議 事 日 程

[平成29年太宰府市議会 決算特別委員会]

平成29年9月20日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成28年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 平成28年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第7 認定第7号 平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第8 認定第8号 平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門田直樹	議員	副委員長	長谷川公成	議員
委員	堺剛	議員	委員	船越隆之	議員
〃	木村彰人	議員	〃	森田正嗣	議員
〃	有吉重幸	議員	〃	入江寿	議員
〃	笠利毅	議員	〃	徳永洋介	議員
〃	宮原伸一	議員	〃	上疆	議員
〃	神武綾	議員	〃	小畠真由美	議員
〃	陶山良尚	議員	〃	藤井雅之	議員
〃	村山弘行	議員	〃	橋本健	議員

3 欠席委員は次のとおりである

なし

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（22名）

市長	芦刈茂	教育長	木村甚治
総務部長	石田宏二	市民生活部長	友田浩
総務部理事	原口信行	都市整備部長	井浦真須己
健康福祉部長兼 福祉事務所長	濱本泰裕	観光経済部長	藤田彰
教育部長	緒方扶美	都市整備部 公営企業担当部長	今村巧児
教育部理事	江口尋信	総務課長併 選管書記長	田中縁

経営企画課長	高 原 清	人権政策課長 (兼人権センター所長)	福 嶋 浩
元気づくり課長	伊 藤 剛	納 税 課 長	千 倉 憲 司
福 祉 課 長	友 添 浩 一	高 齢 者 支 援 課 長	川 崎 純 一
国保年金課長	山 浦 剛 志	上 下 水 道 課 長	古 賀 良 平
上下水道施設課長	谷 崎 一 郎	監 査 委 員 事 務 局 長	渡 辺 美 知 子

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（4名）

議会事務局長	阿 部 宏 亮	議 事 課 長	花 田 善 祐
書 記	芥 藤 正 弘	書 記	高 原 真 理 子

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第3、認定第3号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

312ページ、1款保険料から入ります。

1款1項1目、2目、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款繰入金について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4款諸収入、315ページまでですが、また、同時に5款の繰入金まで含めまして、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、次のページ、行ってください。

歳出に入ります。

1款総務費、1項1目、2目について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款徴収費、319ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款諸支出金、それから3款予備費について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出の質疑は終わりました。

次、320ページですね、実質収支に関する調書について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

意見交換について、何かご意見はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「平成28年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時02分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 認定第4号 平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第4、認定第4号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

328ページ、よろしいですか。

1款保険料、1項1目について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款使用料及び手数料について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3款国庫支出金、331ページまでですが、3款について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4款支払基金交付金について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款県支出金、333ページまで、5款について、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6款財産収入について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、7款繰入金、335ページまでですが、7款について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、8款繰入金、9款諸収入、337ページの終わりまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

338ページ、1款総務費から入ります。

1款1項総務管理費、1目一般管理費が、341ページまで1項について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2項徴収費について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3項介護認定審査会費が343ページまでですが、質疑はございませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 介護認定について全般で伺いたいですけれども、事務報告書の3番目、73ページの3番目に申請、認定の状況というところで、申請の状況が平成18年4月から平成29年3月までの数字が、新規が851件と更新が2,414件というふうにあるんですけれども、これ、介護認定の申請をして、決定が通知が来て、それについて、再申請したいとか、不服申し立てというような形で、一度送られてきた認定に対しての納得がいかないというような、そういう件数は出ますでしょうか。何件ほどあったか、わかれば教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(川崎純一) 今、ご質問ありました件についてご説明いたします。

こちら、今現在、ここに上げています新規というのは、新規、更新というのは、そのまま素通り、納得いただいた分というふうな形になります。それで、今言われた不服申し立てにつきましては、特にあっておりません。介護の結果が出ました介護の度合いにつきまして、区分変更という形、もう一度調査をしてほしいと、ちょっとこれじゃ納得いかないというような申し出があった場合には、区分変更申請という形で提出をされる方がほとんどの方です。それにつきましては、平成28年度は231件の区分変更の調査を行っております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

○委員(神武 綾委員) はい。

○委員長(門田直樹委員) ほかにございませんか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 関連して、73ページの事務報告書の中に、居宅で、サービス受給者で居宅というところが、合計が1,891人ということなんですが、この中で、待機してある数というのはわかりますか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 待機と言われますと……。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 施設入所を待機していて、この人数の中に入っているという数ではないんですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 居宅というところにつきましては、これは、全て在宅でのサービス、在宅にてサービスを受けている方の人数がこの居宅というサービスの中に入っておりまして、施設というところ、こちらのほうが実際に施設入所をされている方ということで、待機、待ちをされている方、特に特別養護老人ホームとかという方は、今現在、まだ待機されている方はいらっしゃいます。

○委員長（門田直樹委員） 居宅に入っとうかどうか。

○高齢者支援課長（川崎純一） その方につきましては、待機されている間に、例えば特養であれば、別のサービスを自宅のほうで受けてある場合もありますし、別の施設のほうで特養のあき待ちをされているとかというようなことで、居宅と施設両方に待機の方が入り込んでいるかと思われま。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、342ページ、4項趣旨普及費、5項運営協議会費について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款保険給付費、1項介護サービス等諸費、1目、ページめくっていただいて、2目、3目、8目までについて、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、9目居宅介護サービス計画給付費、347ページまでですが、それと10目もですね、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 346、347ページ、2項介護予防サービス等諸費、目でいきますと1から6目までについて、質疑はございませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 347ページの細目001住宅改修費についてお尋ねしたいんですが、これ、1,400万円、何件で、改修内容ですが、どういう改修内容があるか。バリアフリーというのはわかりますが、どういったところの改修が多いのかをお尋ねします。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） この住宅改修費につきましては、平成28年度は147件申請がっております。内容につきましては、主に手すりですね、自宅内の手すりをつけたり、道路から家に入るまでのスロープとか段差の解消ですね。あと多いのは、浴槽等に行くまでの敷居とかなんかの段差、あとは浴槽の手すり等が主に住宅改修の対象となっているケースが多く見られております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） そうすると、147件というお答えありましたが、1件当たり大体10万円ぐらいということですか。それは、もうもっとばらつきありますか、改修費の。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 限度額が20万円が限度額となっております。ですから、大半の方が限度額内で抑えてあるということで、やっぱり舗装工事等、入り口、玄関等の工事が入ってきますと、かなり20万円の限度額を超えたところでの自己負担というのが発生している状況で、大半は20万円以内で納まっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 前ページに居宅介護住宅改修費というのが別にあるわけですよね。やはり345の001で住宅改修費、これは、どうして分けてあるのか、この違い。要介護と要支援の違いなのか、説明をお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） これは今、言われましたように、前半のほうが、居宅というのが要介護度をお持ちの方が使われたサービス、後半のほうが、予防のところに入っていますのが要支援の介護度を持ってある方のサービス提供分となります。ということで、2つ分けております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） その上の福祉用具購入費なんですけれども……。

○委員長（門田直樹委員） 347ページですね。

○副委員長（長谷川公成委員） ああ、そうですね、はい。例えば、何割負担とか、100%じゃないですよ。これも上限とか決まっているのか、何割負担なのか、ちょっと教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 福祉用具購入費につきましては、1年度で上限額が10万円というふうになっております。負担につきましては、通常の負担割合の1割もしくは2割の負担をしていただくということで対応しております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、346ページ、7目介護予防サービス計画給付費、349ページまでで、同時に8目特例介護予防サービス計画給付費まで、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、3項その他諸費について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、4項高額介護サービス等費、1目、2目について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5項高額医療合算介護サービス等費、ページめくって、351ページまで、1目、2目について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、同ページの6項特定入所者介護サービス等費、1から4目ありますが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 350ページの3款地域支援事業費に入ります。

1項介護予防事業費、1目が353ページまでですが、2目、3目もあわせて、質疑はございませんか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） 001の13委託料、介護予防、353ページですね、介護予防運動事業委託料、これ、110万円。

事務報告書の74ページ、介護予防事業というのがありますね。1から8まで。この決算に上がっている100万円というのは、どれを指すのか、1次予防事業で。これ、全部なのか。お願いします。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。



○高齢者支援課長（川崎純一） 事務報告、74ページの1次予防の中で、こちらで行きましょう。  
詳細は、事務報告の194ページですね、はい、の上段に、今、お話しいただきました1次予防の委託契約を結んでいる教室の一覧をお示ししておりますとおりでございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、事務報告書の74ページですけれども、いい取り組みされているなというふうに、一応そういうふうに評価したいと思うんですが、これ、どういうふうな周知方法で広げられているのか。あと、会場ですね。例えば、2番、②のすこやか運動教室、これが、大体3,464人の参加があって、1回当たり、大体53から54人ぐらいだと思うんですが、65回開催されて、この会場、どこの会場でされているのかお尋ねします。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） こちらの教室につきましては、今現在、会場につきましては、教室はいきいき情報センターで行っている分と、あと、昨年度から会館しました総合体育館のほうで、アリーナのほうで開催している分というのがございまして、アリーナを利用するようになってから、利用者もかなり増えてきている現状でございます。広報につきましては、毎月、広報紙のほうで教室の開催を毎号ご案内を差し上げております。それと、あわせて、健康づくりカレンダーの中で、この教室のご案内と一緒にさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 橋本委員。

○委員（橋本 健委員） それで、団塊の世代が、これから、今、71歳以下、もう高齢化してくると思うんですよ。こういうやっぱり介護については、予防に力を入れていただきたい。健康づくりポイントもそうですけれども、こういった、やはり皆さんが健康になっていただく。できるだけ介護のお世話にならないようにするという、こういうところをやっぱり強化していただきたいと思うんですね。だから、もっともっとPRの仕方とか、それからもっと行き届くように、自治会長さんが集まれる席でもっともっとPRするとか、やはり積極的にPR活動をしていただいて、もっともっと盛り上げていただければなというふうに思います。できるだけ健康で長生きをしていただきたいということで、お願いしたいと思いますが、その辺のご見解をちょっとお願いします。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 今、委員さん、言われましたように、今から先、この予防というのが一番大事になってくるかと思われま。それで、周知方法等も、今以上に周知方法を検討させていただきまして、そしてまた、教室の内容も、以前は年齢に関係なく一つで開いていたものを、74歳までの方、それと75歳以上の方というふうに教室を分けて実施するなどして、その人に応じた教室が開けるようにということで見直しもさせてもらっているところでござい

す。これからは、予防のほうに周知方法、自治会も含めたところで検討させていただきたいと  
思います。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

○委員（橋本 健委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

神武委員。

○委員（神武 綾委員） 今、回答の中にありました健康づくりカレンダーというのは、年に1  
回、広報と一緒に配ってある全戸配布の分でしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） こちらは、毎年年度初めの4月1日に1年間分のカレンダーを回  
覧させていただいているということでございます。

（「広報」と呼ぶ者あり）

○高齢者支援課長（川崎純一） あっ、広報に入れております。

○委員長（門田直樹委員） 神武委員。

○委員（神武 綾委員） その対象になる方に目にとまりにくいということもあるみたいなので、  
そういう対象になる方、65歳以上の方が対象になりますよね。そういう方に対して、何か手渡  
しできる場所があれば、ちょっと思いつきませんが、何かそういうところで直に渡せ  
るような形でされると、こういう1次予防の事業とかも参加しやすいのかなというふうに思い  
ますので、その点も考えていただければと思います。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 今言われましたように、これがどこまで皆さんのほうに周知され  
ているかというところもありますので、これを配布する場、もちろん市役所、各機関の施設の  
窓口等はもちろんですけれども、そういうところ以外にも検討させていただきまして、より多  
くの方に目が行き届くような形を検討させていただきたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、352ページの2項包括的支援事業任意事業費、1目がずつ  
と続きまして、357ページまでの1目について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 356ページ、2目の任意事業、359までですが、質疑はございませ  
んか。

小島委員。

○委員（小島真由美委員） 事務報告書の74ページに、任意事業の中で徘徊高齢者家族支援サービ

ス事業というのがあるんですが、この徘徊高齢者等家族支援サービス事業という事業の内容と、それからこの登録者数が4人という数で、これはどういった周知の方法とか、ちょっとこの人数に対しては少ないのかなあという見解なんですけれども、どんな感じでお考えなんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） こちらの徘徊高齢者家族支援サービスという、まずはこのサービスの内容についてですけれども、こちらはGPSの探知システムを使いまして、徘徊されてどこに行ったかわからないというような方の現在地を把握して、その家族等に連絡をさせていただくと。場合によっては、委託業者のほうで現地まで出向いて搜索するというような形のサービス内容となっております。

そして、もう一点、今現在、事務報告に書いておりますように、3月31日現在で4名ということで、今現在では、平成29年の今現在で5名、1名増えてはおりますけれども、まだまだこちらについてはサービスの周知、こういうサービスがありますよというような周知不足も考えられますので、実際に徘徊高齢者ということで、緊急な連絡等をいただいて、警察も含めて搜索するというのは、今現在も発生しておりますので、こういうふうな機器を利用していただけよう、このサービスの周知を検討していきたいというふうに思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 小島委員。

○委員（小島真由美委員） 各自治会で時々やっぱり不明者が出たりとか、いろいろなメールで来たりとかしているんですけれども、やっぱりこれから大事な事業じゃないかなあと思っているんですが、しっかり拡大していくには、やっぱり自治会とかに足を運んで説明をしていくとかということは、今、されてはいるんですね。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（川崎純一） 今、各自治会等からいろいろこの高齢者に対する分につきましては、話をしてほしいというふうな出前講座等の研修も要望も上がってきておりますので、そういう中で、この包括支援センターのほうで行っておりますサービスについては、資料を配付させていただいたり、説明をさせていただいたりということで、周知をさせていただいている状況でございます。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、358ページ、4款諸支出金、1項、2項、各目について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款基金積立金について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、6款予備費、361ページ、最後までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出もう終わったので、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、362ページ、実質収支に関する調書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

366ページ、1款サービス収入について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款繰入金について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款繰越金について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4款諸収入について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

ページをめくって、368ページです。

1款総務費、1項1目について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款諸支出金について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款予備費について、質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、370ページ、実質収支に関する調書についての質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般について、総括的な質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

意見交換は、何か意見ございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号「平成28年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第4号については、認定すべきものと決定しました。

(認定 賛成17名、反対0名 午前10時27分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定

○委員長(門田直樹委員) 日程第5、認定第5号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

374ページ、1款県支出金から入ります。

1款について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款財産収入について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款繰入金について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 4款繰越金について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 5款償還金、377ページ、最後までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

378ページ、1款総務費について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款公債費について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款基金積立金について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、380ページ、実質収支に関する調書について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について、総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

ご意見はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 意見交換を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「平成28年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時29分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第6 認定第6号 平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第6、認定第6号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

384ページ、1款分担金及び負担金から入ります。

1款について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 2款県支出金について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

386ページ、1款総務費、1項、2項についてそれぞれ質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款予備費、ページが389ページの最後までですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、390ページ、実質収支に関する調書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

神武委員。

○委員(神武 綾委員) 歳出の387ページ、介護認定審査会の認定審査員のことなんですけれども、介護認定が恐らく増えてきていると思うんですけれども、これ、認定員さんの人数とか開催回数とかというのは、何か変化はありますか。ちょっと状況だけ教えてください。

○委員長(門田直樹委員) 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長(川崎純一) 今言われましたように、入居者の増員ということもございます。

それで、昨年、平成27年度が審査会の開催回数が699回で、平成28年度は706回、若干ですけども、回数も増えているという状況でございます。

審査員につきましては、筑紫地区全部で32の合議体でやっておりまして、これは、委員各5名ということで、これについては、現状どおりでやっております。同じ合議体数で件数をこなしているというような形になっております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

○委員(神武 綾委員) はい。

○委員長(門田直樹委員) ほかに。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) よろしいですね。

以上で質疑を終わります。

意見交換、何かございますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第6号「平成28年度筑紫地区介護認定審査会事業特別会計歳入歳出決算認定について」、認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第6号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時32分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長(門田直樹委員) それでは、日程第7、認定第7号「平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

まず、1ページの平成28年度太宰府市水道事業報告書から入ります。

1ページの概況について、また、続きまして3ページまでですね、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4ページをお開きください。

工事について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5ページ、業務について、質疑はございませんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) どこで聞けばいいかちょっと迷ったところなんですけれども、大分私もちょっと記憶が薄くなってきているんですけれども、平成28年度が寒波があった年でありますかね。寒波で漏水があった年だったと思うんですが、そのときの……。

(「27年」と呼ぶ者あり)

○委員(木村彰人委員) 27年ですかね。

残念です。

そうしたら、次行きます。

供給単価と給水原価のほう、これが、しっかり、これ、31.07円出ているんですけれども、監査報告書のほうの、ちょっと資料で見ますと、75ページ……違いますね。

○委員長(門田直樹委員) いやいや、内容を言ったら向こうが言うから。

○委員(木村彰人委員) はい。この差額が、要するにプラスの金額が出ているという意味だと思っ
たんですけれども、これ、ちょっと、私ちょっと今、ページあれなんですけれども、平成27年度から
プラスになっていると思います。結構大きなプラスだと思うんですけれども、これ、プラス
に転じたのはどうしてかということと、それと、これが一時的なものじゃなくて継続的にプラ
スでやっていけるのかと。そうすると、水道料金の引き下げとかにも結びつくと思うんですけ

れども、こちらについての考えはどうか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） おはようございます。

私のほうからご回答差し上げたいと思います。

この分が、平成26年度に会計制度が変わりまして、計算式のほうがかわっておりまして、給水原価のほうの計算式を見ていただいたらわかると思うんですけども、分子のところに長期前向け金戻入という金額を引くような形になっておりますけれども、これが、現金の伴わない収入でございまして、それ以前に関しましては、この分を引かないという形で算式をしておりましたので、どうしても給水原価のほうが高くなっておりましてけれども、平成27年度からは、この分を引くような形になっておりますので、供給単価のほうが高くなっております。

それと、水道料金のことに関しましても、同じようなことが言えるかと思うんですけども、現金の実質純利益というのは2億円近く上がっておるんですけども、現金の伴わないものを含んでおりますので、実質現金の伴うものは、過去5年平均で大体3,000万円弱ぐらいの利益しか上がっておりません。今後においては、水道施設の更新とかで結構大きな費用になってきますので、その分を勘案して将来の計画等立てて、なるべく更新のほうにお金が必要ないような形でしていこうというふうに、今、計画を、考えをしております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 木村委員。

○委員（木村彰人委員） 平成27年度から……。

○委員長（門田直樹委員） あっ、入ってない、入ってない。

○委員（木村彰人委員） 計算方法が変わったということで今、わかったんですけども、これはそうしたら、単純にこれ、プラスになっていけば喜んでいいというふうに判断してよろしいんですね。ただ、見せかけだけの計算方法が変わったからプラスになっているよという意味じゃなくて、これはもう明らかにプラスになっているというふうに喜んでいいんですね。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） はい。おっしゃられるように、大体、この前の計算式でいきましても、黒字、大体利益は3,000万円近くは上がっていたということではございます。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、進みます。

6 ページについて、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、7 ページについて、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、8ページについて、質疑はありませんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) これ、聞きたかったんですけども、アセットマネジメントというのが平成28年度9月20日の規約年月日の業務が、作成業務、太宰府市水道事業アセットマネジメント作成業務委託というのが終わっているわけなんですけれども、これ、いろいろなやりとりの中で、アセットマネジメントをして、すごく安定的な経営をしていきますということでご報告がありますけれども、簡単に言ったら、アセットマネジメント、これ、結果が出ていると思いますので、どういうふうな形で実際に業務が進んでいくのかを簡単に説明していただきたい。

○委員長(門田直樹委員) 上下水道課長。

○上下水道課長(古賀良平) 昨年度、アセットマネジメントで長期の財政収支及び健全化更新事業の策定を行い、複数の案で水道料金の改定を視野に検討を行いました。その結果、更新需要が、着手前に想定した額を大きく上回ったために、施設の統廃合や更新時期の選定を検討し、経営と供給を両立した事業の内容検討の必要性を再認識し、現在、取り組みを進めているところでございます。

このアセットマネジメントの現実性を求める上では、まず、実際に実施して、段階的にその水準を向上させていくものとされております。昨年度検討した複数の案は、まずは実施という取り組みとしてあくまで試算したものであるため、今後の水道事業を検討する上での基礎資料として考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

それでは、進みます。

9ページ、この附帯事項について、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。10ページ、11ページ、平成28年度の太宰府市水道事業決算報告書について、質疑はありませんか。

ごめんなさい。ページが12、13。報告書について、質疑はよろしいでしょうか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 進みます。

14ページ、損益計算書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、15ページの剰余金計算書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） それでは、16ページ、平成28年度の剰余金処分計算書案について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、17ページと18ページ、19ページまでですね、貸借対照表について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、20ページ、キャッシュフロー計算書について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 21ページ、収益費用明細書、ずっと続きまして、24ページまでですね。質疑はございませんか。

長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 後から出てくるかなと思ってちょっと見ていたんですけども、大変申しわけないですが、9ページのその他のところにハの、他会計補助金のうちペットボトル製造費補助金というのがありまして、ちょっとページ数が飛んで大変申しわけないんですが、このペットボトル、たしか売り出すように、太宰府の梅とかがあしらってあって何かありましたよね。あれもうどっかで販売されているとか、現時点であるんですかね。ちょっと教えてください。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 水道水のペットボトルの活用のごことお尋ねかと思っておりますけれども、この分は売り出すとかじゃなくて、水道加入促進や水道利用者のさらなる利用促進として活用を図るものとしております。

具体的な例といたしましては、給水制限解除前に建設された、現在水道に加入されていない集合住宅、マンションとかですね、そういったところの総会の場などにお伺いして、水道の加入のお願いの際に水道水のペットボトルを配布いたしまして、水道水の安全性とか安定供給などをアピールして、加入促進を図ってまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） 今後もそういった、ペットボトルを製造して、また、そういったところに出向いたときに配布していく。今後も続けていく予定あるんですか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（古賀良平） 一応継続して取り組んでまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 長谷川副委員長。

○副委員長（長谷川公成委員） せっかく立派なペットボトルでしたから、よかったら販売とかも

して、何かうまくいけばなというふうに思ったんで、まあこれ、要望です。

よろしくをお願いします。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページ、平成28年度の水道事業資本的収支明細書、26ページまでですね、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、27ページ、固定資産明細書について、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それから、28ページから29ページまでですね、水道事業企業債明細書について、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、30ページから31ページまでについて、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

それでは、以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「平成28年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第7号については、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時45分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第8 認定第8号 平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第8、認定第8号「平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の

処分及び決算認定について」を議題といたします。

1 ページ、平成28年度太宰府市下水道事業報告書から入ります。

1 ページの概況について、3 ページまでですね、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4 ページ、工事について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5 ページの業務、5 ページから7 ページまでですね、質疑はございませんか。

木村委員。

○委員(木村彰人委員) 水道と同じ質問なんですけれども、使用料単価と処理原価のほうが、ずっとこれ、逆に下水道のほうが平成24年からずっとプラスを出していると思うんです。企業債の残高の償還の関係もあると思うんですけれども、こちらをそれこそ下水道料金を下げる見込みとか、あと企業債の残高を減らすというところも多分思いますので、その見通しについてご説明いただきたいと思います。

○委員長(門田直樹委員) 上下水道課長。

○上下水道課長(古賀良平) 私のほうから、ご回答します。

下水道のほうに関しましても、企業債のほうはまだ82億円ほど残っておりまして、下水道のほうに関しましても、下水道管路の長寿命化といった分を今後行っていかないというふうなことになっておりますので、これも含めまして、料金のほうも含めましてちょっと検討してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○委員長(門田直樹委員) よろしいですか。

ほかにございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、会計、8、9 ページまでですね、について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、10、11 ページ、その他について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、12 ページから15 ページまでですね、決算報告書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、16 ページ、損益計算書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、17 ページの剰余金計算書について、質疑はございませんか。

か。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、18ページ、剰余金処分計算書案について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、19ページから20ページの貸借対照表について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 21ページ、キャッシュフロー計算書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 22ページから24ページまでの収益費用明細書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 25ページ、資本的収支明細書、26ページまでですね、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、27ページ、固定資産明細書について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 28ページからの水道事業企業債明細書が、これが32ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、33ページ、34ページで、最後ですが、注記について、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

討論に入ります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第8号「平成28年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第8号については、原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時50分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午前10時50分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成29年11月20日

太宰府市決算特別委員会委員長 門 田 直 樹